

第1学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日 時 平成28年5月24日(火)6校時 14:20~15:10
場 所 東京学芸大学附属小金井中学校 図書館(3階)
対 象 東京学芸大学附属小金井中学校 1年D組
(男子20名 女子19名 計39名)
指導者 松原洋子(国語科、司書教諭)
井谷由紀(学校図書館司書)

1 単元名 情報学習のオリエンテーション

2 単元の学習目標

- 「総合的な学習の時間」の学習指導要領より、「探究的な学習の過程」として挙げられている「①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現」の中から、「②情報の収集」を、「学校図書館の活用」を通して行う。
- 図書館の本の情報を使い、日ごろ興味を持つもの以外の情報にも意識を持ったり、関連性を探って視野を広げたりすることができる。

3 単元設定の理由

生徒は、4月の学校生活オリエンテーション時に ①技術科室にて、パソコンの使い方(4月14日) ②図書館にて、図書館の使い方や情報検索の仕方(概要)(4月15日) について学習済みである。とはいえ、まだ入学して1か月であり、図書館への関心はさほど大きくはない状態であるといえる。

今後、本校で各学年に設定されている修学旅行の事前事後学習や、2年時の職業体験などの「総合」(「総合的な学習の時間」の、本校での名称)の時間を使い、さまざまな「探究的な学習」を行うことになるが、その際、「横断的」に多様な視点からものごとを見る力や、必要な情報を取捨選択する力を必要とする。今回はその導入として、1つのテーマに基づき、3つの異なった分類の本を図書館資料の中から探す活動を行う。このような体験を重ねることにより、気軽に図書館を訪れ、自主的に本を探して読んだり調べたりする態度を養うことができるようになると思う。

なお、現2・3年生にも出典を明記する指導をしているのだが、なかなか徹底しないという実態があるので、1年次から繰り返し書誌情報を記す練習をさせるため、本時においても意識して書かせていく。

4 学習指導計画(4時間計画)

- ① パソコンの使い方の基礎
- ② 図書館の使い方 の基礎・本校図書館における、情報検索の仕方
- ③ つなげよう 3冊の本(本時)
- ④ 新聞研究

5 単元の評価規準

- ・ 楽しく仲間と活動することにより、図書館にはいろいろな本の情報があることを実感している。
- ・ 自分が選んだ本の書誌情報を記したり、3冊の本にどのようなつながりがあるかを記したりすることができている。

6 本時の指導			
① 本時の目標			
・積極的に本を探したり、視野を広げたり、仲間を認めたりしようとしている。			
・1つのテーマにもとづいて図書館の本を探すことによって、新たな本との出会いをする。			
・本の書誌情報を正確に書くことができる。			
② 本時の展開			
学習目標	生徒の活動	指導上の留意点	
		司書教諭(松原)	学校司書(井谷)
本時の目標や活動の内容を知る。	教師の話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れを理解させる。 ①ルールにのっとって3冊の本を探す。 ②書誌情報(書名・著者名・出版社・発行年)をワークシートに記入する。 ③仲間が選んだ本及びその理由(テーマとの関連)を知り、「テーマとのつながりに説得力があったもの」を選ぶ。 ④多くの仲間から投票された者がスピーチを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ゲーム」のルールを徹底させる。 ・テーマが書かれたカードから1枚を引く。 ・そのテーマとの関連がある3冊の本を本校図書館の中から選ぶ。 そのさい、3冊の本はすべて別の「図書分離」から選ぶこと。 ・選んだテーマではうまく活動できないようなら、別のテーマに切り替えてもよい。 ・司書への質問(レファレンス)はよいが、答えを求めることはできない。 (例 ×「なんか犬に関係する本ありませんか?」) (例 ○「犬のテーマで探していますが、盲導犬の育て方を書いた本はありませんか。」) <p>実際に、「犬」をテーマとしてそれぞれの分類からどのような本があるかを、具体的な本を示しながら説明することで、「ゲーム」の方法を理解させる。</p>
ルールにのっとって3冊の本を探す。	テーマカード(※1)を引き、3冊(※2)の本を探す。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書に協力し、本を見つけれない生徒に対しての支援を行う。 ・それぞれ異なった分類から探せたか確認する。 ・早く本が見つけれられた生徒には書誌情報記入を促す。 ・時間の関係で、3冊見つけれなくてもよいとする。 	なかなか本が見つけれない生徒に対して、支援を行ったり、レファレンスを行ったりする。
書誌情報を意識するとともに、テーマとの関連性をわかりやすく書く。	書誌情報とテーマとのつながりをワークシートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・例を示しながら、書誌情報が正しく書けるよう促す。 ・選んだ3冊(時間がなければ2冊でも1冊でもよい)とテーマとの関連性をほかの人にもわかるように書くよう、うながす。 	司書教諭に協力し、書き方のわからない生徒への支援を行う。
仲間の作品を読むことで、交流し、視野を広げる。	仲間のワークシートを読み、最も優れたものに投票シールを貼る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「①しっかりとテーマにそって本が繋がっていて、②なるほど、と納得できるもの」を仲間のワークシートから探し、「ベストつながり(ナンバーワン)」であると思う仲間のワークシートに自分のシールを貼るよう説明する。 これは、仲間との交流をさせることにより、さまざまなつながりかた・さまざまな本があるという認識をさせ、視野を広げさせる意味でも、大切な活動である。 ・早めに投票が終わった生徒は自分の席に戻り、感想を書くよううながす。 	※参観されている方々も、ご一緒にどうぞ。大人用の投票シールもご用意しております。
	投票数の多かった生徒がスピーチを行う。それ以外の生徒は仲間のスピーチをしっかりと聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 「みんなから投票してもらった決め手は何だったと思うか。どこに気をつけて本を選んだか。」を引き出したいが、話せないようであれば、「みんなに選んでもらっての感想」でもよいこととする。 ここでも、生徒の視野を広げさせることと目的としているので、しっかりとスピーチを聞かせるよう、うながしていきたい。 	司書教諭への協力
まとめ・自己評価	今日の活動を通してのひとくち感想を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒それぞれの切り口があってよい。自由に書かせる。 ・テーマカード、本、ワークシートはすべて机に置いたまま帰るよう指示する。(参観者に分析していただくため) (※3) 	司書教諭への協力
<p>※1 テーマカードの内容・・・合計56テーマを用意した。 (もの)たまご・木・水・氷・骨・城・花・野菜・ピアノ:::火・土・人・学校・日本・家・窓・目・空・虫・星・光・風・四角・三角 (概念)青・白・円・命・宝・宇宙・小・犬・時・音・夢・東京・影:::黒・数・古・走る・中心・名前・夜・王・体・祈り・生まれる・信 (漢検の「今年の漢字」から)安・金・戦・食・新・輪・愛</p> <p>今回は上記のテーマを用意したが、発達段階や生徒の実態によっては、より具体的なもの、あるいは、より抽象的なもの、あるいは現在生徒が興味を持っていることに特化したもの、など、自由にテーマを設定できる。</p>			
※2 生徒の実態や、本探しとして与える時間によっては、3冊に限らず増減させることが可能である。			
※3 授業終了後 仲間が選んだ3冊の本も含め、借りたい本があれば今借りられることを知らせる。図書館への興味・関心を高めるための、指導者側のささやかな工夫の一つである。			
③ 本時の評価(評価規準)			
・本探しや仲間との交流を積極的に行っている。			
・本を探す活動の中で、新しい本・ジャンルとの出会いを意識している。			
・選んだ本の「書名・著者名・出版社・発行年」を正しく書き写すことができている。			

()年()組()番_____



がテーマの本

	類	書名	著者名	出版社名	出版年	テーマとのつながり
1						
2						
3						

A(シール欄)

B(感想)